

## 第3部

# 『新型コロナウイルス陽性者 発生時の対応』

みやこICN

三菱京都病院 嶋 雅範

# 研修内容

- 1日目

職員のリスクと環境について考える。

- 2日目

利用者へのリスクについて考える。

- 3日目

陽性者が発生したときについて考える。

新型コロナウイルス患者が発生した場合  
を想定した組織づくり

## 1. 新型コロナウイルス陽性者の隔離手順

**利用者の陽性が判明してすぐに入院できるわけではない**

- 感染者数増大による病床の逼迫状況
- 認知症など医療機関での受け入れが困難

**重症化しなければ、施設で待機している間に勧告解除となる場合もある**



# 1. 新型コロナウイルス陽性者の隔離手順

- 隔離はどこですか

- **個室**が望ましいが、ない場合は陽性者用の部屋を用意する

- 完全に分離できる状況を作る

- 陽性者や濃厚接触者が複数人いる場合は、  
集団で隔離することも検討する。

※部屋に特殊な空調は必要なく、十分な換気ができればよい

# 1. 新型コロナウイルス陽性者の隔離手順

- 隔離はどこですか

原則、陽性者とそれ以外の利用者を大部屋で管理するべきではない。  
ベッドの間隔を

※患者とその他の利用者を隔離できない場合は、保健所の指示に従い隔離場所を決定する。



# 1. 新型コロナウイルス陽性者の隔離手順

- ・ 隔離はどこですか

※区切りは、誰にでもわかるように表示する

※フロアの一部を仕切る場合は、テーブルなどで感染者以外の人が入りにくい工夫をする

(避難経路を確保するため一部は動かしやすいものを使用する)



# 1. 新型コロナウイルス陽性者の隔離手順

- ・ 隔離はどこですか

※各ゾーンの区切りは、誰にでもわかるように表示する  
テープなどで職員のだれが見てもわかるよう表示する





# 1. 新型コロナウイルス陽性者の隔離手順

## ゾーニング

病原体によって**汚染されている区域（汚染区域）**と**汚染されていない区域（清潔区域）**を区分けすることである。

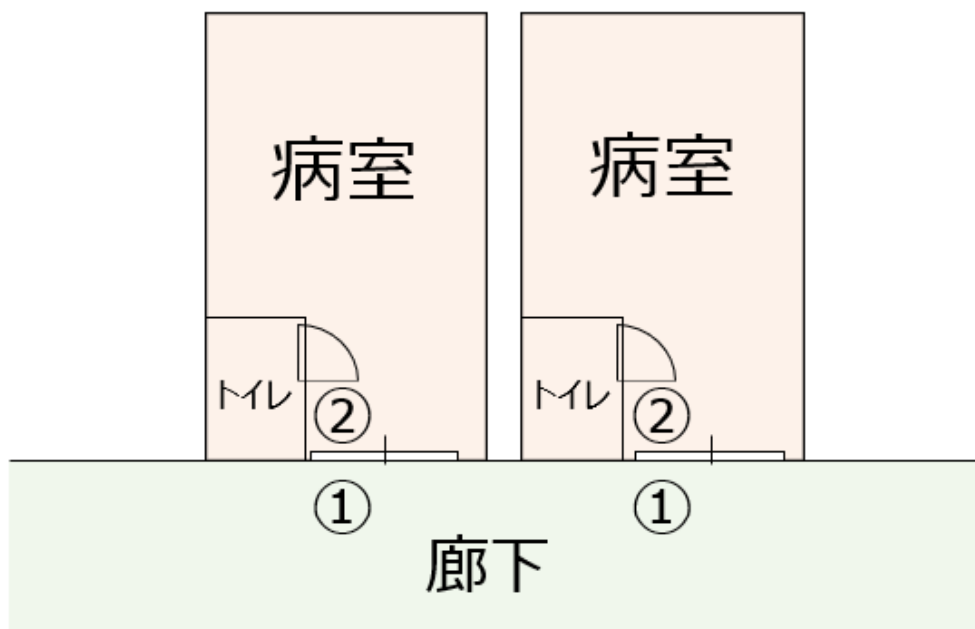
# 1. 新型コロナウイルス陽性者の隔離手順 ～ゾーニングにおける注意点～

- 汚染区域と清潔区域を**明確に区別する**
- 汚染区域は可能な範囲で**狭く設定**する。（広く設定すると広く汚染される）
- 詰め所は原則として清潔区域とする。
- 汚染区域に入る際に必要な個人防護具を着用し、汚染区域から出る際に個人防護具を脱衣する。
- 個人防護具の**着用場所と脱衣場所は明確に指定**する。
- いずれの区域においても十分な換気を行う

急性期病院における新型コロナウイルス感染症アウトブレイクでのゾーニングの考え方：

[http://dcc.ncgm.go.jp/information/pdf/covid19\\_zoning\\_clue.pdf](http://dcc.ncgm.go.jp/information/pdf/covid19_zoning_clue.pdf)

# 1. 新型コロナウイルス陽性者の隔離手順 ～ゾーニングの基本パターン～



②脱衣場所：  
室内に設置、  
ここでPPEを外して  
廊下に出る

①着衣場所：  
廊下に設置、  
室内に入る前に  
PPEを着用する

# 1. 新型コロナウイルス陽性者の隔離手順 ～ゾーニングの基本パターン～

## ②脱衣場所：

レッドゾーン内に設置、  
ここでPPEを外して  
廊下に出る

## ①着衣場所：

レッドゾーン外に設置、  
室内に入る前に  
PPEを着用する



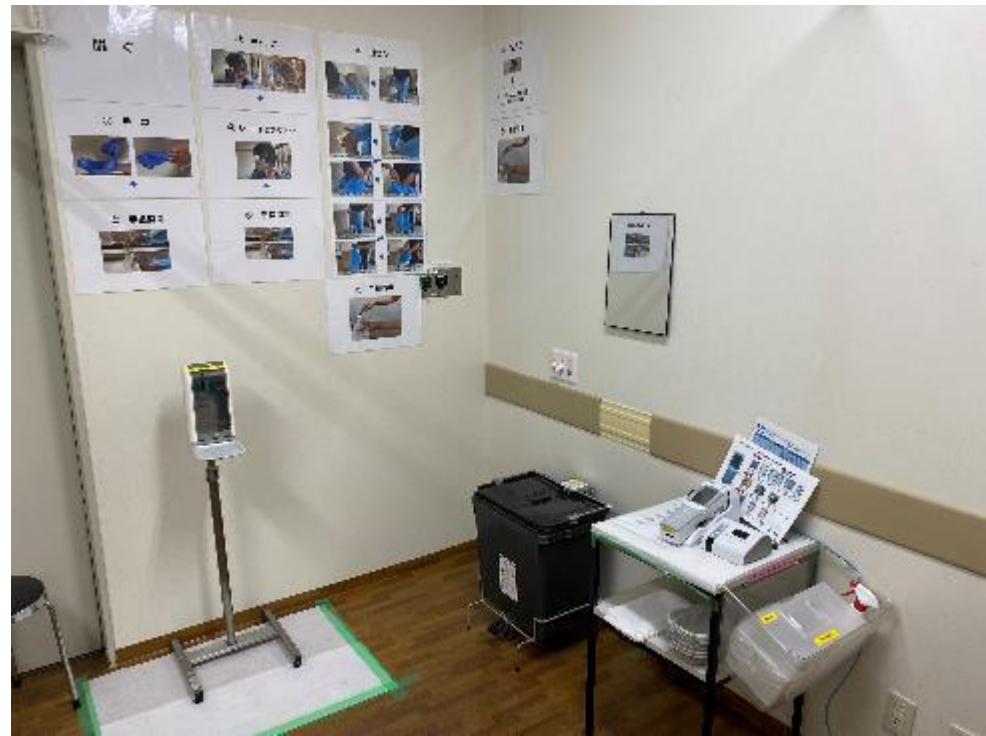
# 1. 新型コロナウイルス陽性者の隔離手順 ～着衣場所～

- PPEは着用順に並べる
- 必ず鏡を置き、正しく着用できているをセルフチェックできるようにしておく
- 着用手順を写真などで示しておく



# 1. 新型コロナウイルス陽性者の隔離手順 ～脱衣場所～

- 蓋つきのゴミ箱を設置する
- 必ず鏡を置き、正しく脱衣できているかセルフチェックできるようにしておく
- 脱衣手順を写真などで示しておく



## 2. 濃厚接触者の管理

～濃厚接触者とそれ以外の利用者をどのように分けるか～

※ 陽性者が出た場合、利用者は以下の3群に  
わけることとなる

1.陽性者

2.濃厚接触者

3.それ以外

## 2. 濃厚接触者の管理

～濃厚接触者とそれ以外の利用者をどのように分けるか～

- 従来型

陽性者



濃厚接触者





## 2. 濃厚接触者の管理

～濃厚接触者とそれ以外の利用者をどのように分けるか～

- 従来型

陽性者



濃厚接触者



## 2. 濃厚接触者の管理

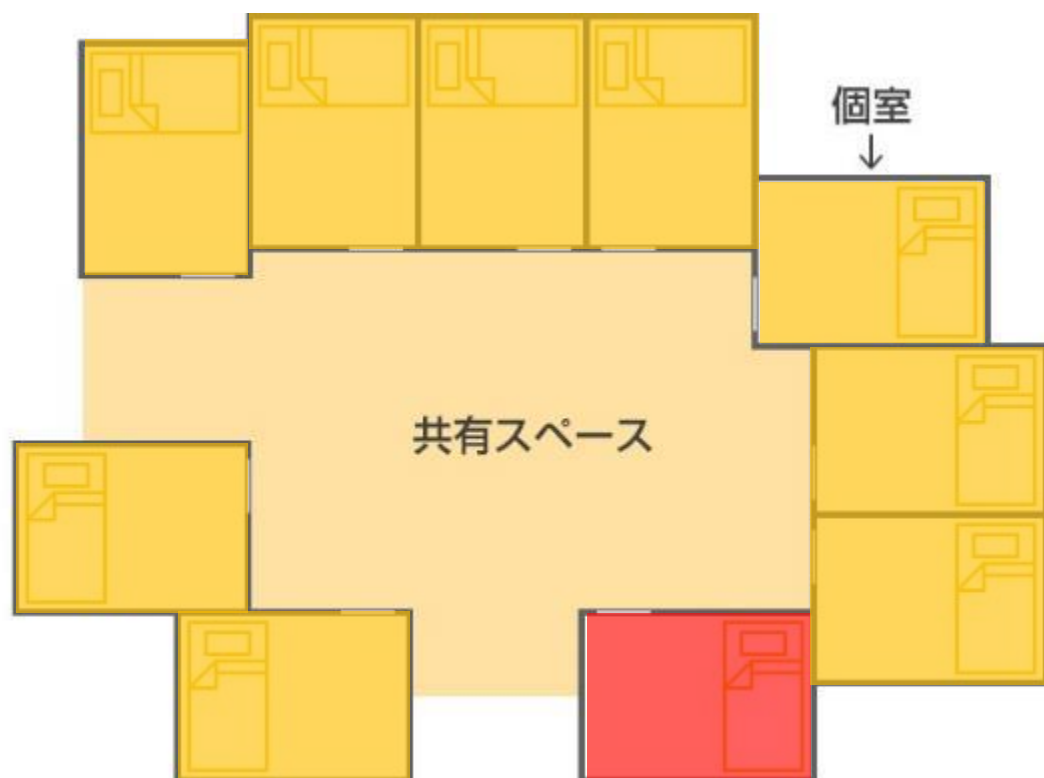
～濃厚接触者とそれ以外の利用者をどのように分けるか～

### • ユニット型

陽性者



濃厚接触者



新型コロナウイルス患者が発生した場合  
を想定した組織づくり

職員に濃厚接触者が多数発生した場合

### 3.人員や物資の確保

① 職員が多数濃厚接触者となった場合の応援体制はあるか

→他部署などからの応援体制の確立

→同じ法人などからの応援体制の確立

職員も濃厚接触者となり、通常より少ない人数で業務を行うことを想定しておく

### 3.人員や物資の確保

- ② 備蓄した物資がなくならないよう、管理担当者が決まっているか

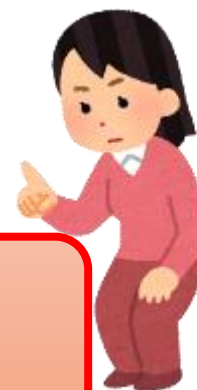
備蓄した物品の使用状況を確認し、物品がなくならないよう行政や販売業者からの供給を依頼する

#### 4.濃厚接触者やその他の入所者をどのように ケアするか

人員や物品の枯渇が発生するだけでなく、感染対策行動の増加や外部業者のサービス停止などで大幅な通常業務外の業務が増える状況となる。

そのため通常業務を最小限にとどめ対応する必要がある。

非常時優先業務の整理が必要



# 業務継続計画(Business Continuity Plan )

介護施設・事業所における  
新型コロナウイルス  
感染症発生時の

---

業務継続ガイドライン

# 業務継続計画(Business Continuity Plan )

| 職員数     | 出勤率 30%      | 出勤率 50%           | 出勤率 70%      | 出勤率 90% |
|---------|--------------|-------------------|--------------|---------|
| 優先業務の基準 | 生命を守るため必要最低限 | 食事、排泄中心、その他は減少・休止 | ほぼ通常、一部減少・休止 | ほぼ通常    |
| 食事の回数   | 減少           | 減少                | 朝・昼・夕        | ほぼ通常    |
| 食事介助    | 必要な方に介助      | 必要な方に介助           | 必要な方に介助      | ほぼ通常    |
| 排泄介助    | 必要な方に介助      | 必要な方に介助           | 必要な方に介助      | ほぼ通常    |
| 入浴介助    | 清拭           | 一部清拭              | 一部清拭         | ほぼ通常    |
| 機能訓練等   | 休止           | 必要最低限             | 必要最低限        | ほぼ通常    |
| 医療的ケア   | 必要に応じて       | 必要に応じて            | 必要に応じて       | ほぼ通常    |
| 洗濯      | 使い捨て対応       | 必要最低限             | 必要最低限        | ほぼ通常    |
| シーツ交換   | 汚れた場合        | 順次、部分的に交換         | 順次、部分的に交換    | ほぼ通常    |



## 5.職員に陽性者が発生した時に備えた準備

就業制限のルールはあるか

- どの職員が、どの利用者にケアを実施したかがわかる記録はあるか（遡って濃厚接触者の洗い出しができるか）
  - 発症日から2日前以後のケア記録から濃厚接触者を洗い出す
- 保健所に報告すべき事項など、連携のためのルールはあるか
- 副業を行っている職員を管理者が把握しているか
- 就業制限の規定（勧告解除後いつから出勤可能か）

利用者の陽性時に備えた準備  
～管理者（上司）と検討しておくべきこと～

## 食事の提供方法

- 施設内で職員が調理している場合

人員の枯渇が予測されるため、

施設内での調理は中止する

→代替えとして、仕出し弁当やレトルト品など  
を利用する

→食事形態が利用者層に合っているか確認する

利用者の陽性時に備えた準備  
～管理者（上司）と検討しておくべきこと～

## 食事の提供方法

- 外注業者が調理している場合

- 利用者から陽性者が出た場合

- 業務を継続してもらえるのか

- クラスターが発生した場合

- 業務を継続してもらえるのか

- 業務継続困難なのであれば「施設内で職員が調理している場合」と同様の準備を

利用者の陽性時に備えた準備  
～管理者（上司）と検討しておくべきこと～

## 食事の提供方法

- 食器

外注・施設職員調理いずれも使い捨ての食器  
（100均の紙皿でもOK、3～4食分程度）を準備  
しておく と 便利

→皿洗いなどの業務負担を軽減

→外注業者も感染対策上の問題を理由に、ディスポ食器  
への変更を提案してくる場合がある（高価なことが多い）

# 利用者の陽性時に備えた準備 ～管理者（上司）と検討しておくべきこと～

## ゴミ（一般ゴミ・感染性廃棄物）

- 感染者発生やクラスター発生時にゴミの回収は継続されるか
  - 外注業者に回収を依頼している場合は、外注業者に確認する
  - レッドゾーンから外へ持ち出すときに、どのルートを使用して持ち出すか
  - コロナウイルスで汚染されたゴミは、何に入れて廃棄するか（Ex ビニール袋を2重にするなど）
  - 回収されるまでのゴミはどこに置いておくか

利用者の陽性時に備えた準備  
～管理者（上司）と検討しておくべきこと～

## リネン類

感染者発生やクラスター発生時にリネン類の回収は継続されるか

- 外注業者に回収を依頼している場合は、外注業者に確認する
- レッドゾーンから外へ持ち出すときに、どのルートを使用して持ち出すか
- コロナウイルスで汚染されたリネン類は、何に入れて洗濯にだすか
- 処理されるまでのリネン類はどこに置いておくか

# 利用者の陽性時に備えた準備 ～管理者（上司）と検討しておくべきこと～

陽性者 ■■■



ゴミやリネンの  
搬出口として  
利用できる

利用者の陽性時に備えた準備  
～管理者（上司）と検討しておくべきこと～

保健所との連携（平日、休日）

- 感染者の健康状態の報告はどのようにするのか
- 急変時の連絡はどのようにするのか
- 物資の供給はあるのか



# 利用者の陽性時に備えた準備 ～管理者（上司）と検討しておくべきこと～

## 家族ケアはどうするか

- 家族への説明は、誰がどのようにするのか
- 陽性者でも濃厚接触者でもない利用者の家族への説明はどうするのか
- 濃厚接触者に該当しない利用者が自宅に帰ることも検討する（ショートステイ）
  - この場合の説明をどうするか

# 利用者の陽性時に備えた準備 ～管理者（上司）と検討しておくべきこと～

## 職員ケアはどうか

- 他の施設で働いている者はいないか
- 職員のメンタルフォロー
- 自宅に帰宅させるのか（ホテルは絶対ではない）

→自宅に帰る場合

帰宅直後のシャワー

（施設でシャワーを浴びて帰宅するのもよい）

ユニホームは別にする（毎回洗濯に出すのが理想）

# まとめ

- 陽性者やクラスターの発生は、介護のマンパワーが著しく減少する非常事態である
- その対応は、施設によって設備・人員数・利用者の特徴に違いがあるため、施設ごとに検討が必要である
- 陽性者が出たときのため、多くの職員と対応シミュレーションを実施しより良い対応を検討しよう